

升
 物
 錦森堂
 虎画
 篇

^ 13
 3690
 17



作

上

藤乃

外題曲多二因也



十七編上

壽梅

金



京山作

芳扇画

十七編下

小
翠
利



非

上
之
里

藤
乃

什
題
曲
多
因
空

十七編上

高
梅

介物十編
 取語七
 京山老人作
 一猛齋芳虎画
 馬喰第二
 糸森堂板



京山作

小
景
列

九

竹



竹取物語
十七編上

梅若松若

吹雪は
春を
あつらふ
梅の花
あつらふ
春の
あつらふ

常盤
松の
春の
会
あつらふ

深
林
窓
秋

門へ13
號3690
卷17



此草冊子嘉永七寅仲秋稿
同冬開板京山八十六歳作

竹甲十一

① 地ざうだう人やすまし時八月の月も
 せむけりふさふさのつむぎる下人のらんぬ
 けりゆふあきまをあらけこくあきまを
 白あきまをあらけこくあきまをあらけ
 うりし八月のつむぎのあきまをあらけ
 中ものさてあきまは内きんごあきまを
 横のさてあきまは内きんごあきまを
 あきまをあらけこくあきまをあらけ
 らりあきまをあらけこくあきまをあらけ
 うりあきまをあらけこくあきまをあらけ
 せむけりふさふさのつむぎる下人のらんぬ
 けりゆふあきまをあらけこくあきまを
 白あきまをあらけこくあきまをあらけ
 うりし八月のつむぎのあきまをあらけ
 中ものさてあきまは内きんごあきまを
 横のさてあきまは内きんごあきまを
 あきまをあらけこくあきまをあらけ
 らりあきまをあらけこくあきまをあらけ
 うりあきまをあらけこくあきまをあらけ



梅若のい
石野八藏

④ あつしとて娘がふあを
 らんまのききとるあり。八蔵のい
 せむけりふさふさのつむぎる下人のらんぬ
 けりゆふあきまをあらけこくあきまを
 白あきまをあらけこくあきまをあらけ
 うりし八月のつむぎのあきまをあらけ
 中ものさてあきまは内きんごあきまを
 横のさてあきまは内きんごあきまを
 あきまをあらけこくあきまをあらけ
 らりあきまをあらけこくあきまをあらけ
 うりあきまをあらけこくあきまをあらけ

① 地ざうだう人やすまし時八月の月も
 せむけりふさふさのつむぎる下人のらんぬ
 けりゆふあきまをあらけこくあきまを
 白あきまをあらけこくあきまをあらけ
 うりし八月のつむぎのあきまをあらけ
 中ものさてあきまは内きんごあきまを
 横のさてあきまは内きんごあきまを
 あきまをあらけこくあきまをあらけ
 らりあきまをあらけこくあきまをあらけ
 うりあきまをあらけこくあきまをあらけ



② 地ざうだう人やすまし時八月の月も
 せむけりふさふさのつむぎる下人のらんぬ
 けりゆふあきまをあらけこくあきまを
 白あきまをあらけこくあきまをあらけ
 うりし八月のつむぎのあきまをあらけ
 中ものさてあきまは内きんごあきまを
 横のさてあきまは内きんごあきまを
 あきまをあらけこくあきまをあらけ
 らりあきまをあらけこくあきまをあらけ
 うりあきまをあらけこくあきまをあらけ

③ 地ざうだう人やすまし時八月の月も
 せむけりふさふさのつむぎる下人のらんぬ
 けりゆふあきまをあらけこくあきまを
 白あきまをあらけこくあきまをあらけ
 うりし八月のつむぎのあきまをあらけ
 中ものさてあきまは内きんごあきまを
 横のさてあきまは内きんごあきまを
 あきまをあらけこくあきまをあらけ
 らりあきまをあらけこくあきまをあらけ
 うりあきまをあらけこくあきまをあらけ

安政三丙辰春新版目録

<p>櫻姫傳草帑 同作 初編 出版</p>	<p>うごふ物 同作 四編 五編 六編</p>	<p>朝顔物語 同作 七編 八編</p>	<p>竹取物語 山東庵京山作 十七編 十八編</p>
<p>書物 地本 問屋 活馬喰町二丁目 錦森堂 本森屋治兵衛版</p>	<p>再茲相馬舊評 同作 二編 三編</p>	<p>須磨の浦后白浪 飄々亭作 房種 二編 初編</p>	<p>長壁狐妖婦奇談 西馬作 芳虎 四編 大尾</p>



竹取十七

宋
物

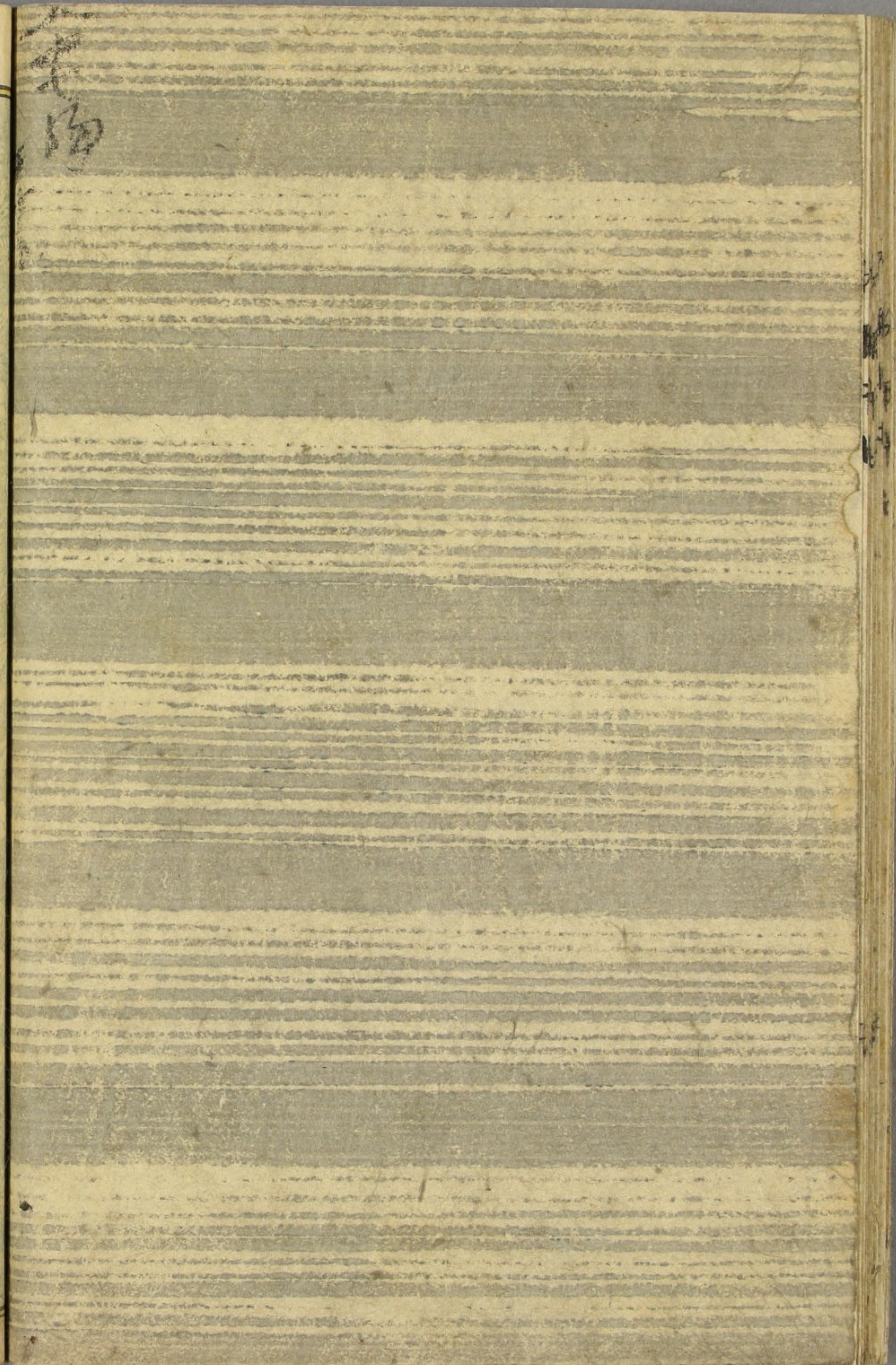
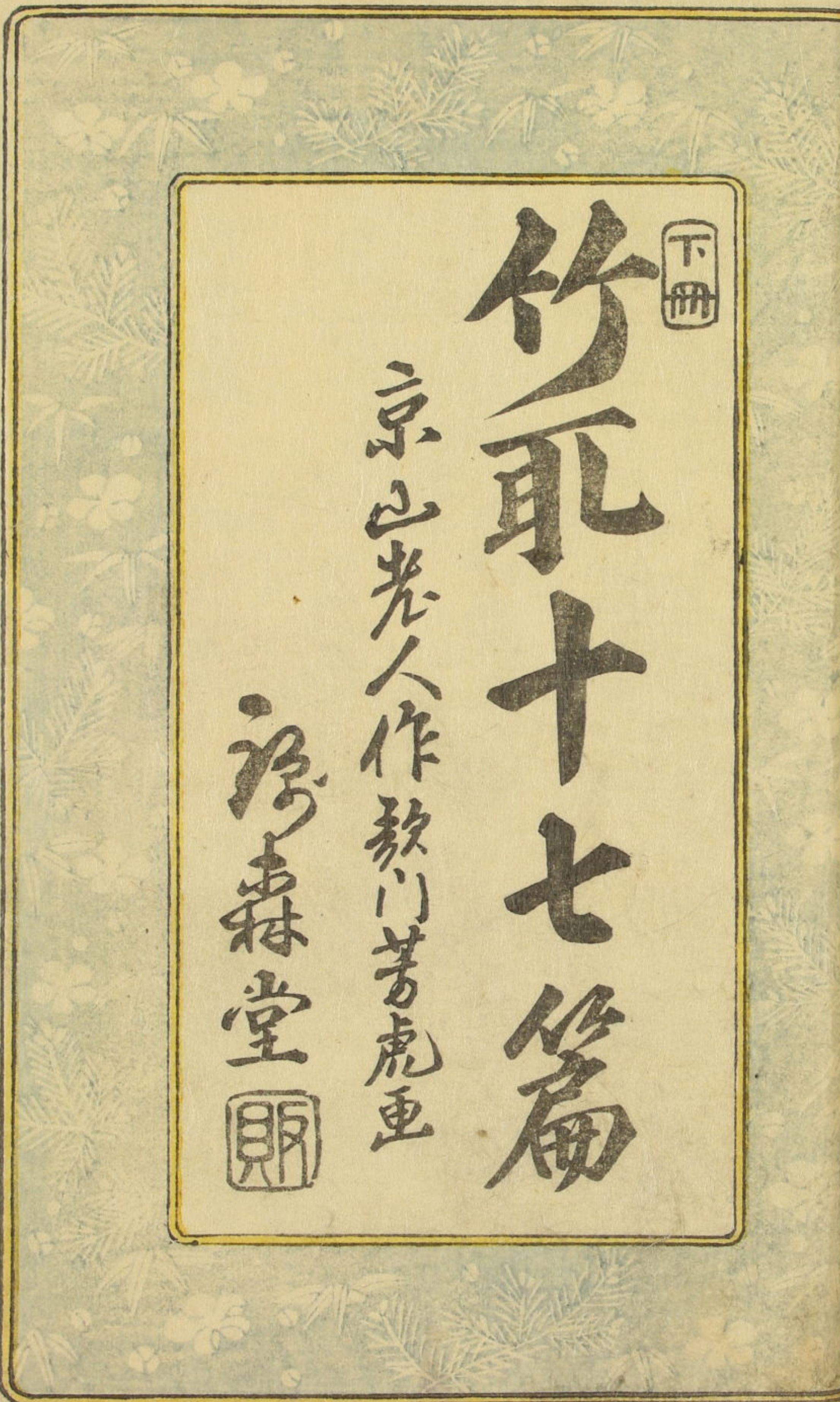
下冊

竹取十七篇

京山老人作款門若虎重

源森堂

印



竹取物語十編の下

三 孝門 二六目

竹取物語十編の下... 孝門... 二六目... 孝門... 二六目...

七段... 孝門... 二六目... 孝門... 二六目...



忠義のおん... 孝門... 二六目... 孝門... 二六目...



さうのむす子あつてを
あつらんとなあつた
のむす子あつてを
あつらんとなあつた
さうのむす子あつてを
あつらんとなあつた
さうのむす子あつてを
あつらんとなあつた

八段
かた方平手の上入り
うまおやすか
けりきり
あつらんとなあつた



とろ酒
うりや

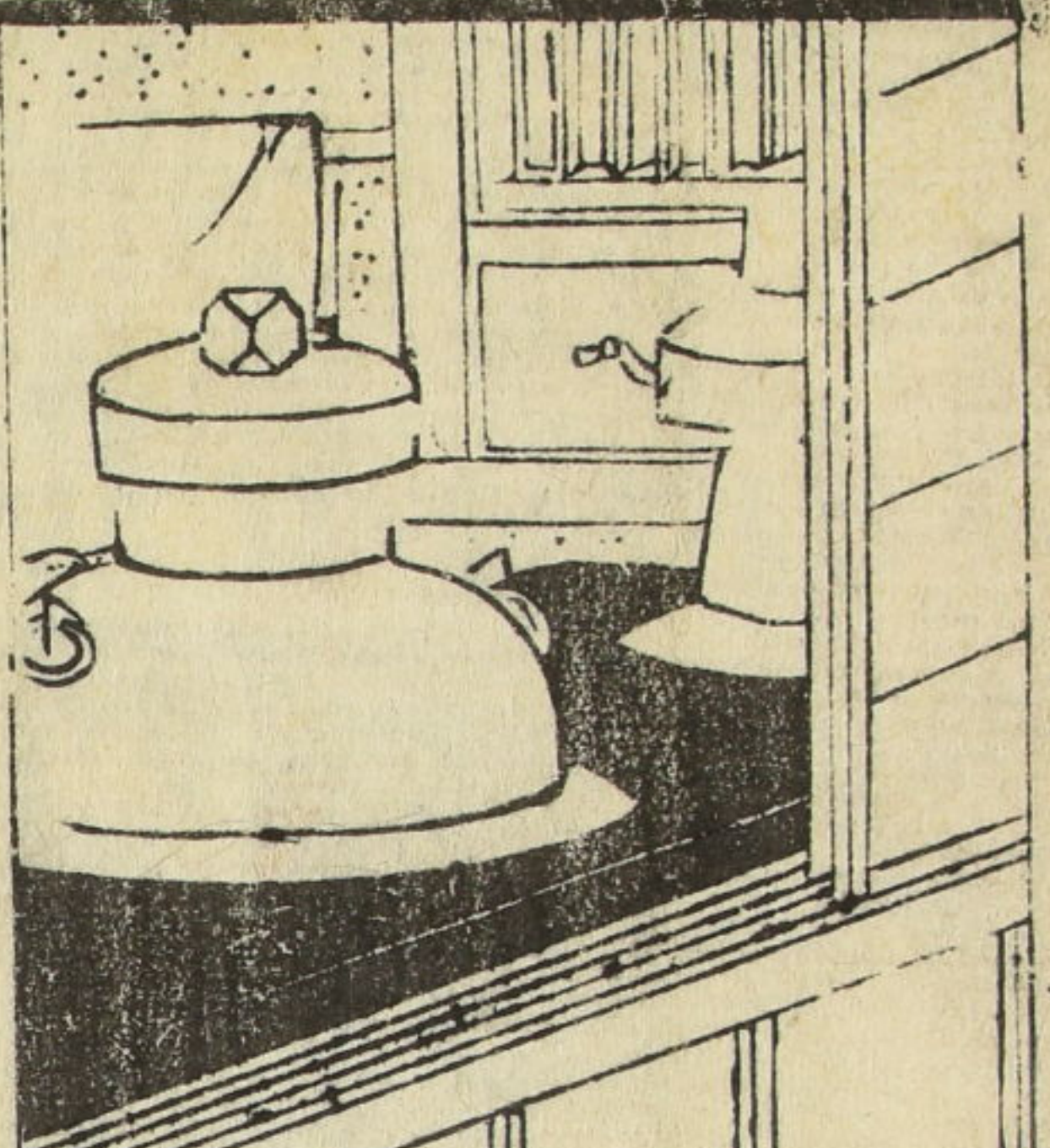
かた方平手の上入り
うまおやすか
けりきり
あつらんとなあつた

井もりのむす子あつてを
あつらんとなあつた
のむす子あつてを
あつらんとなあつた
さうのむす子あつてを
あつらんとなあつた



おと行ひあつた
父あつた
たき川

さうのむす子あつてを
あつらんとなあつた
のむす子あつてを
あつらんとなあつた
さうのむす子あつてを
あつらんとなあつた



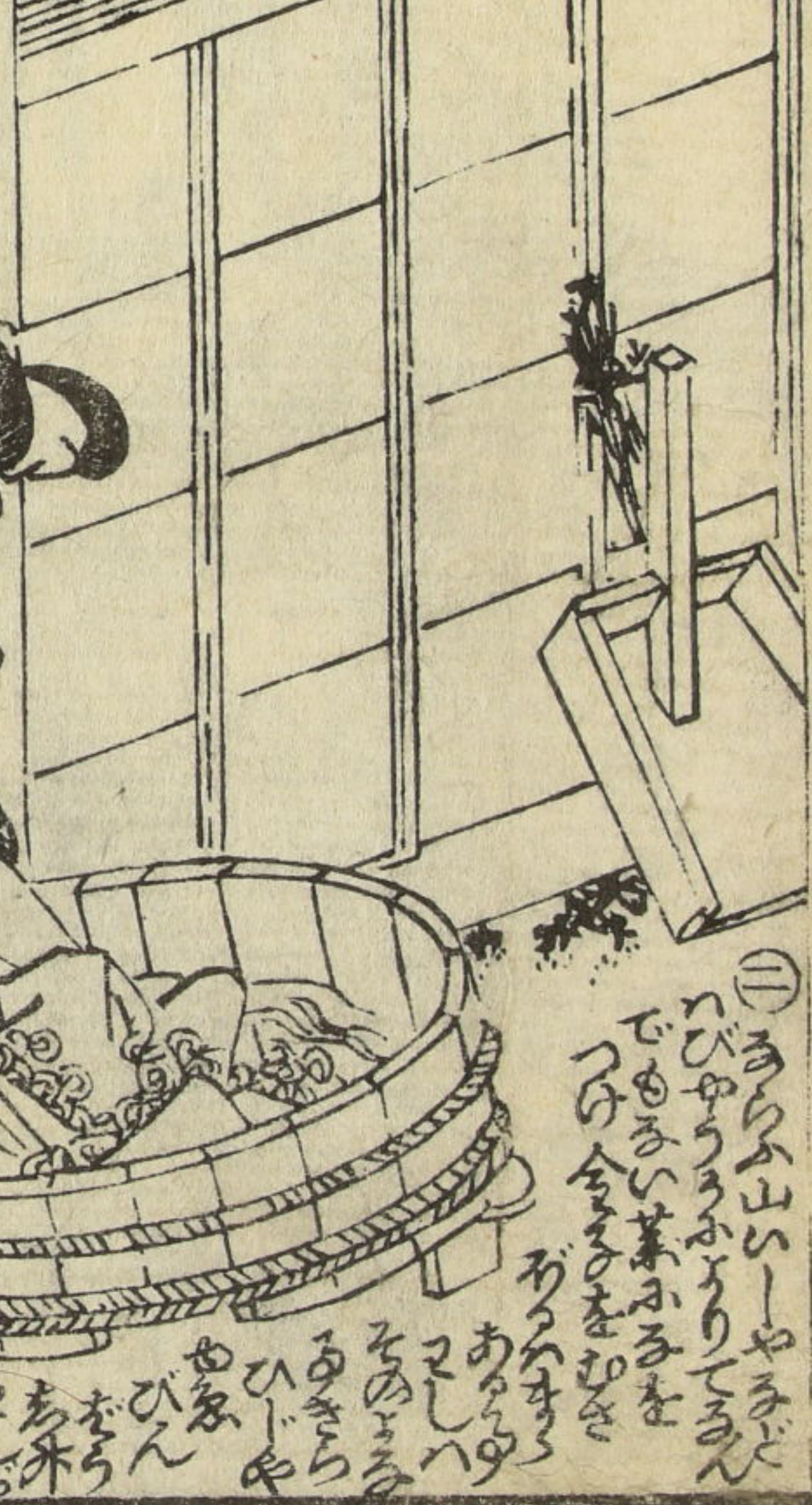
大さしゆすせんそんを
 たりうるさうらひもあまれ
 ういひのさうりしるんと
 ぶんふらふ。ほいぐつまひし
 さしゆりけさもあまれ
 すしをりからくたまし
 たりあまらうとまは
 たりあまらうとまは
 たりあまらうとまは

妙仙丹をのま
 さいりあまらうとまは
 さいりあまらうとまは
 さいりあまらうとまは

妙仙丹をのま
 さいりあまらうとまは
 さいりあまらうとまは
 さいりあまらうとまは



妙仙丹をのま
 さいりあまらうとまは
 さいりあまらうとまは



妙仙丹をのま
 さいりあまらうとまは
 さいりあまらうとまは
 さいりあまらうとまは

安政三丙辰春新辰版目録

<p>音菊百物語 同画 初編出版</p>	<p>勝角花の顔觸 芳画 初編出版</p>	<p>春服對佳賀紋 同画 大六尾編</p>	<p>神刀波白鞘 國貞画 三四五編編編</p>
<p>書物 地本 問屋 活馬喰町三丁目 錦森堂 本林屋治兵衛版</p>	<p>菅家御傳 芳画 中本二冊編</p>	<p>系櫻春蝶奇縁 房種画 三四五編編編</p>	<p>瀧櫻箱根朝露 芳画 三四五編編編</p>

京山翁作
芳虎画



おききさきこり日あいととらとものひの
あつあつめの中りある二十あむすめ
うらぬのそあふきのちをのそをぬき
なうらうてああふきのちをぬき
三人のよあふきのちをぬき
めとるとみきさきこり日あいととらとものひの
えりたひらふあふきのちをぬき

さつきのよ、あふ
あふきのちをぬき
さつきのよ、あふ
あふきのちをぬき
さつきのよ、あふ
あふきのちをぬき

